

ミズベリング構想について

「大学生観光まちづくりコンテスト2016山梨ステージ」が開催されました

笛吹市・山梨市・甲州市の3地域を対象に、①訪日外国人の誘客と滞在を促進する観光まちづくり、または、

②ミズベリングと連動した観光まちづくりをテーマにプランを募集しました。

37大学から参加した80のチームで予選が行われ、予選を勝ち抜いた10チームが、9月10日にスコレーセンタ―で行われた本選に出場し、地域活性化につながるアイデアを発表しました。

審査の結果、山梨英和大学の「ブランディング研究会」が最優秀賞の観光庁長官賞に選ばれました。ブランディング研究会は、「宿場町として復活する石和宿」と題し、リニアの駅が山梨にできることにより観光客の増加が見込まれることから、アジア人観光客をターゲットにした誘客について提案しました。

発表では、観光客は、自撮り（セルフイー）を行い、SNSで写真を投稿することに着目し、自撮りスポットの整備を行うことで自動的に写真が拡散され、写真を見た外国人が、笛吹市を

訪れたくなるようなまちづくりをすることが必要ではないかと提案しました。

自撮りスポットとして、石和の名にちなみ、石で飾りつけた湯畑の整備。近津川の川床整備。また、夜にわざわざ見に行きたくなるスポットとして、一宮大文字焼き、春日居笈形焼き、山梨市フルーツ公園からの甲府盆地の夜景などを自撮りスポットとして提案しました。

なお、このコンテストにおける優秀なプランは、JT Bグループによる商品化やプロジェクト化も検討され、本市の活性化の一助となることが期待されます。



大学生まちづくりコンテスト2016山梨ステージの様子